

□議員名：杉本 保喜

1 今年度の防災体制の改善状況課題について

論点	山陽小野田市地域防災計画における次の状況を問う。 <ul style="list-style-type: none">・ 消防団活性化総合計画・ 自主防災組織における訓練の指導・ 避難所マニュアルの活用状況
回答	<p>この5年間定員割れが続き、現在の充足率は86%程度であり、超高齢化社会を迎えて団員獲得に苦慮している。装備の充実等の改善策や自主防災組織との活動等を含んだ計画を作成したい。</p> <p>住民への意識啓発事業をはじめ、自主防災組織補助金、地区防災会補助金や防災士育成補助金等の制度を実施している。</p> <p>現在、県の指針や先進自治体の例を参考に避難所運営マニュアルの見直し中である。避難所の鍵の管理も課題として対策を整理し、具体化したい。</p>

論点	市が育成支援している防災士を市としてどう扱うのか。
回答	総合防災訓練の準備会合で、市と防災士との有意義かつ貴重な場を設けることができた。防災士の意見を反映しながら協同して地域防災力向上に取り組まねばならないと考えているので、定期的な意見交換会や議論の場を設けて、連携して防災対策に取り組んでいきたい。

論点	被災経験を持つ当市の防災体制が他市の体制並みになるためには、危機管理室を「危機管理課」に昇格させて体制の強化を図る必要があると考えるがどうか。
回答	県内では、13市中10市が危機管理課として設置している。現状が本市に合っていると思っているが、来年4月に向けて、12月頃に危機管理室の体制を含む機構の見直しをする予定であるのでその中で検討する。

2 JR小野田駅周辺地区の整備について

論点	駅周辺市街地を都市核として整備促進を図っている現状と今後の計画はどうか。
回答	区画整理事業の代替事業として都市再生整備事業を見込み、その整備計画案の策定において、半年間地域との協議会等6回実施して、意見を反映するよう取り組んでいる。国の承認はまだ期間が必要だが、平成28年度中に事業着手ができるよう努力する。街灯は、並行して整備する。橋上自由通路は、JRの調整や予算を含め困難な状況である。

3 広域交通体系の整備の進捗状況と今後の方策について

論点	3つの地域を核とする本市において、利便性の良い広域交通体系の整備は、定住促進対策の重要課題のひとつであるが、その具体的な方策はどうか。
回答	地域公共交通総合計画を検証するとともに、新たな交通計画となる市地域公共交通網形成計画を作成するため、従来の地域公共交通会議に新たにJRや山口大学に加わってもらい、また都市計画課や観光課の職員も加わり年度内の策定に向けて、7月末に第1回の会議を実施した。今後、地域の概況や交通の状況調査、市民アンケート等実施して現状把握し、計画の基本方針や目標設定を行い、計画を策定したい。また、国交省からの地域公共交通活性化再生法を踏まえてまちづくり全体のことを念頭に、本計画を作成する。